

番 号	題 名		
陳情第1号	都市計画道路県庁前古国府線・遊歩公園整備に関する陳情		
提出者 住所 氏 名	大分市府内町2-5-40 府内町協議会 会長 秦 徹也		
受理年月日	令和6年3月4日	付託委員会	建設
要 旨	<p>都市計画道路県庁前古国府線の整備の早期着工を陳情する。</p> <p>これまで、都市計画道路県庁前古国府線と遊歩公園については、平成5年に公園リフレッシュ事業検討会が発足し、ふないアクアパーク、ジャングル公園、若草公園に次いで遊歩公園と隣接する大手公園と一体的に整備すると計画されていた。平成22年からは大分都心南北軸トータルデザイン事業として、大分駅南北地域の再整備を目指した100年に一度のまちづくりが進みだした。その際、大分市中心市街地グランドデザインとして、交通、にぎわい、都市景観・環境の分野で都市計画道路県庁前古国府線は短期・中期で特に優先的に事業化すると示された。</p> <p>平成24年に開催された大分都心南北軸整備に関する意見交換会では、遊歩公園の再整備は、おおむね10年以内に着手または事業化することと示された。</p> <p>現在では、都市計画道路県庁前古国府線は大分市立金池小学校までの南側において道路改良、整備が完了しており、北側の約450mの区間を残すのみとなっている。</p> <p>遊歩公園を含めた都市計画道路県庁前古国府線の整備は、大分市が中心となり、中心市街地の活性化、交通網の面的整備も考慮し早期の計画の着手と、工事の着工をお願いする。</p> <p>遊歩公園の在り方については、利用者である地域住民や、沿線商店街、自治会などの意見を聞き、大分市としての方針を早期に示す必要があるのではないか。</p> <p>歩道のバリアフリー化を行い、歩行者や自転車などの安全性の確保と利便性の向上を高めるよう早期に計画し整備することをお願いする。</p> <p>以上のとおり、下記要望事項を踏まえ、整備計画を早期に取りまとめ、工事に着手するよう陳情する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中心市街地の活性化に向けて、交通網の面的整備の一環としての整備をすること 2. 長年にわたって整備の議論を行っていることから早期着工すること 3. 遊歩公園の在り方の方針を早期に提示すること 4. 歩行者が歩きやすく、自転車や車椅子等も安全に通行できるよう整備すること 		